

## 個人情報漏えい

### 続発する企業からの個人情報漏えい

資料7-3-11 おもな個人情報漏えい事件（2002年-2004年）

報道年月	個人情報漏えい事例
2004年3月	東武鉄道のメール・マガジン「102@Club」会員の個人情報が、最大で約13万2000件漏えいした。
3月	ADSL事業者のアッカ・ネットワークスは、110万人分の顧客情報が漏えいした可能性があることを認めた。
2月	通販大手のジャパネットたかたの顧客情報が、最大で約66万人分漏えいした。
1月	Yahoo! BB加入者451万人分の個人情報が記録されたDVD-ROMを入手した男が、ソフトバンクグループ企業関係者から数十億円を脅し取ろうとし、恐喝未遂で逮捕された。
2003年10月	ファミリーマートの「ファミマ・クラブ」会員のメールマガジン購読者約18万人分の情報が流出した。
8月	信販大手のプラスから、クレジットカードの分割払いを利用している顧客7万9,000人の名前や年収区分などの個人情報、ダイレクトメール会社2社に流出した。
8月	鳥取県は、同県のホームページ「とりネット」上で、県行事の応募者89人と、韓国人の訪日団員39人の住所、電話番号などの個人情報を約9～5か月に渡って公開していた。さらに、発覚後、削除指示ミスにより、引き続き公開して“二次流出”した。
6月	ローソンおよび関連会社が発行しているローソンプラス会員カードの顧客情報（氏名、住所、性別、生年月日、自宅電話番号、携帯電話番号）約56万件が社外に流出した。
3月	東京農工大の入学予定者ら950人分の氏名、生年月日、性別、学科名、受験番号などの個人データが入ったフロッピーディスクと書類を、同大から入学手続きのデータ入力業務を委託された情報処理会社の社員が通勤途中の電車内に置き忘れて紛失した。
3月	長野県赤十字血液センターで、県内の献血者70人以上の氏名や血液型などの個人情報を、元派遣社員が別会社の顧客名簿に使用した。
2月	楽天の子会社の検索サイトinfoseekのメール転送サービスで、一部のメールが利用者本人以外の第三者に転送される問題が発生した。
2月	河合塾は、大学入試センター試験の模擬試験を受験した高校生の成績や学校名などの個人情報が同塾の職員から別の予備校に流出したことを公表した。
1月	駿台予備校は、同校の提供する合否シミュレーションサービスの一部の受験生の成績情報が第三者から閲覧可能な状態にあったことを公表した。
2002年12月	福島県岩代町で、全町民約9,600人分の個人情報が漏えいした。住民票コードを含む15項目の個人情報が記載されていた。
11月	東京経済大学の受験生3,107人分の個人情報が1年以上に渡ってインターネットで検索可能な状態になっていた。
10月	筑波大学の学務システムに登録されていた全学生の顔写真が閲覧可能な状態になっていた。
7月	インターネットカフェ会員1万7,000人分のリストが閲覧可能な状態になっていた。
7月	アビバのWebサイトから約1,200人分の個人情報が流出した。
6月	消費者金融大手のライフが、クレジットカード利用明細書2,600人分を誤送付した。
5月	TBCのウェブサイトから約3万人分の個人情報が漏えいした。
1月	静岡朝日テレビが、1,900人の視聴者にメールを配信する際に、他の視聴者のメールアドレスも一緒に送信した。

参考資料

「インターネット事件を追う」(Mainichi INTERACTIVE)

URL <http://www.mainichi.co.jp/digital/netfile/index.html>



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)